



2019年度事業計画



価値ある魅力発進会議 議長 稲村 洋一

これまで地域の魅力を発信する運動は、寒河江西村山の地域行政及び住民の皆様を支えられ、大変多くの参加者を魅了してきました。2017年より実行委員会組織を立ち上げ寒河江青年会議所が軸となり各団体との連携が図られているなか、更なる進化を遂げた運動を展開し地域住民に対し地域連携による魅力の発信が必要です。そして、地域の道標となるべく市民意識変革を成し遂げ、青年会議所としての存在価値を高める必要があります。

まずは、地域連携による魅力の発信をするために、ツール・ド・さくらんぼ2019を開催します。近年の自転車ブームはロードバイクの売り上げからもわかるように、大変な産業となっています。山形県内各地でも自転車を使ったイベントは数多く開催されるなか、寒河江西村山独自の魅力を見出していく必要があります。そして、広域的な魅力を十分に発信するために、実行委員会を先導し合意形成をスムーズに進め、より多くの地域住民の意識を高める事業とします。我々はこれまで蓄積してきた経験や情報を共有し、進化した更なる目標に向け、持続可能な事業の発信をしなくてはなりません。さらに、寒河江青年会議所の価値ある魅力を発信するために、会員が当事者意識を持ち続けられる会員拡大をします。拡大をするためにはJCの本質を理解しなければなりません。また、JCの歴史や理念やこれまで行ってきた事業を知り、会員全員で拡大をすることができる基盤を作るために、会員拡大セミナーを開催します。そして、一年を通して拡大を加速させるために、隔月ごと異業種交流会を開催し、JCを身近な存在に感じさせ魅力を発信し続けます。

価値ある魅力を発信するまちづくりが、地域住民や行政などの繋がりを強固なものとし寒河江西村山の魅力を十分に発信することで交流人口の増加が得られると共に、存在価値を高める会員拡大をすることで新たな時代に矜持を持ち明るい寒河江西村山を創造します。

【職務分掌】

- (1) 会員拡大に関する事項（上程・セミナー・報告）
- (2) 「ツール・ド・さくらんぼ」企画運営に関する事項（例会・公益）
- (3) 理事会から付託された事項



2019 年度 事業計画



成長啓発委員会 副理事長 犬飼 秀幸

平成時代が終わり、新たな時代が始まります。私たち寒河江青年会議所はこれまで51年間にわたり「修練」「奉仕」「友情」の三信条の基、様々な運動を展開してまいりました。次の時代へ地域を活性化させていくには、自己成長と会員の資質向上が求められると共に、メンバー間での意欲的な交流を通じて、新たな価値観に触れ先を見据えた洞察力をもち、高い志を持つ青年経済人としての成長と共に次の時代へと繋げる必要があります。

まずは、私たち自身の資質を高めるためには、運動の真意を深く理解し何事にも積極的に挑戦する姿が大事であり、地域を牽引するリーダーとして、個人が成長し多くの学びや、気づきを得られる貴重な経験が大切なのです。理想に向かって多くの出会いや経験をしながら、仲間とともに乗り越えて行くからこそ、一人ひとりの心を鍛え、仲間同士の結びつきを強くします。学びの場と成果によって自信がつき成長させてくれる組織へ感謝の気持ちが芽生えてくるのです。自信と誇りをもって挑戦する姿は、多くの人々の心に共感を与え、新たな仲間を惹き付けることとなり、組織に良い影響を与えより強固な礎にしていきます。また、自分自身の成長を地域や企業などに還元し、一人ひとりが主役という気持ちを持ち、失敗を恐れず行動を起こすことが地域や、組織の成長にも繋がると考えます。そして、一人でも多く同じ志の仲間と共に会員一丸となる事が必要不可欠であり、寒河江青年会議所の運動は、高い志を持つ青年の成長と地域のため社会のため共存できる団体として成長することが出来ます。互いが感謝の念を持って新たな一歩を力強く進み出します。

私たちの成長は組織の成長に繋がり、運動の真意を伝え発信し、人に興味を持つことで、人とまちが生き活きと輝く、強さと優しさ溢れる人に成長し続け、寒河江青年会議所の活気に満ち溢れ誇れる組織として地域を支える先導者となり明るい未来の創造に繋がります。



2019 年度 事業計画



会員研修委員会 副理事長 住吉 克久

寒河江 J C は「明るい豊かな社会の実現」の理念のもと、51 年もの間運動を続けてきました。先輩諸兄が戦後、激動の時代の中で熱き情熱を持ち行動され、その想いは時代の変動にも変わる事なく、今も歴史と伝統が受け継がれ私たちの誇りとなっています。そして今私たちは、明日を創る世代として伝統に感謝し、地域に誇りを築き、時代に革新をもたらす歩みを止めることなく、恐れずに挑戦し続ける人財に成長しなければなりません。

青年会議所には 20 歳から 40 歳までの熱き想いをもった青年たちが集まる組織であり、青年の学び舎です。「人は人によって磨かれる」と言われ、自分に修練を課し仲間たちと共に磨き高め合うことで自己成長につながります。私たちがこれからの寒河江青年会議所の価値を高めて続けて行くうえで伝統や知識、そして精神の継承が更なる組織としての強固な基盤を確立する事が必要です。その為には会員一人ひとりが青年会議所を理解し成長の型を知り、自己成長の形を作ることで個人を成長させ、魅力ある運動を展開し続けるのです。会員は市民に対して、J A Y C E E としての背中を見せることで青年会議所運動を理解していただきます。地域を想う運動は地域や市民の意識を変え、能動者に於いてはリーダー育成の貴重な成長の機会となります。そして、共に感動を分かち合いながら学ぶことで絆が生まれ、個々の成長を掴める環境が創られます。会員が J A Y C E E としての自信と誇りを持ち、J C の魅力を伝播することで運動を共にしたいと思ってくれる仲間が自然と集まっていく輪を形成し、互いに成長できる実感を伴う学び舎の拡大に広がるのです。

私たちは限られた青年時代の中で気概をもって行動し、青年会議所を地域から求められる団体へと昇華させます。会員一人ひとりが地域に誇りを持ち一秒の歩みを止める事なく、地域から頼られる人財へ成長する事が、明るい豊かな社会の実現に繋がると確信します。



2019 年度 事業計画



青少年共育委員会 副理事長 遠藤 豪

人々は物質的な豊かさの追求から自らの利益を優先することや、地域コミュニティの減少により、他を慮る精神性が薄れつつあり、思いやりや感謝の気持ちを忘れてしまい、人間関係の希薄化が指摘されています。子供たちの成長過程において大人の姿は影響を与えるものであり、利他の精神をもって世のため人のために脈々と運動を発信し続けてきた私たちは、先人たちに感謝をし地域の誇りの歴史や文化を学び成長を続ける必要があります。

まずは、子供たちのことを本気で考え自分の住まう地域に興味を持ってもらうために、私たちが魅力的に立ち居振る舞い多くの方々と交流を図り、寒河江青年会議所の運動を拡く周知します。そして、私たちが子供たちを育成して恵まれた環境によって生かされていると感じてもらうために、子供たちを取り巻く環境の現状を会員一人ひとりが把握し、成長に繋がることを考え、自覚をもって意識を高め子供たちの笑顔を作り上げます。さらに、私たちが青年会議所運動に対してより幅広い視野を持つために、現在の大人たちの現状を知り、私たち青年世代が議論を重ね、しっかりとした事業を構築し大人の成長へと繋げます。力の限り構築した事業に想いや力を伝え、子供たちに教えるだけでなく子供と大人が共に成長することが大事です。大人が正しい道を示しながら子供がさらに成長するためにも大人の成長は不可欠であり、大人の成長した姿を子供に伝えるためにも、多種多様な価値観を得ることのできる達成感や価値観の大切さを感じる経験を提供し、世のため人のために行動できる心を育みながら子供と大人が共に成長できる事業を展開して参ります。

恵まれた環境に感謝できたことにより、地域社会との関わり合いをさらに深めながら自立精神を高め続け、他者の幸せを願うことが出来る思考をもって、地域社会の模範となった青年と少年の成長が、新しい時代の明るい豊かな社会の実現に繋がることを確信します。



2019 年度 事業計画



専務理事 軽部 洋一

公益社団法人寒河江青年会議所は51年に渡り「明るい豊かな社会」の実現の為に、先輩諸兄の情熱を深く受け継ぎ、鋭い洞察力で先の時代を見据え、高い志を持ち地域の人々と手を取り合い、寒河江西村山の地で運動を展開して来ました。そして、ひとつの時代が終わり、新たな時代が始まりを迎える中でこれまでの運動を振り返りつつ、高い志と残すべき伝統はそのままに新たな時代へと即した団体へと変革をして行かなければなりません。

まず、公益社団法人という公の組織の運営責任者として、法令順守は当然の事ながら法令に違反はしなくとも、社会通念上疑念を持たれる行為は是正し、良識と常識を持ちながら理事長の示す1年間の運動を円滑かつ確実に遂行出来るように舵取りを進めて行きます。そして、組織運営に当たっては、健全な財務体質の管理、理事会の円滑な運営、事務局への適正な指導を大切に、会員が運動を有意義に実行出来る環境を整えます。その環境を整える事で会員同士に和が生まれ横の連携が促進されるように図ります。さらに、天災のみならず様々な場面での有事が想定される中で、常に組織の一体感を重視して揺らぐ事無く、有事への対応を堅実に実行します。そして、日本青年会議所、東北地区協議会、山形ブロック協議会、各地青年会議所、また行政や各種関係団体、私達の先輩である寒河江青年会議所OB会とも連携や連絡を密にし、出向や各種事業での支援又は参画をより一層促進します。会員が相互に刺激を受け、新たに得られる出会いや学びの機会を提供することで、新たな時代の始まりを担える会員へと意識改革を一層進めて行く必要があります。

個人の意思で入会した会員が、青年の学び舎である青年会議所で、他人との協調の大切さを感じ時には意見の対立を経て、苦楽を分かち合う友に出会い、人として成長して行きます。失敗も次回へ活かす経験が人を創り、新たな時代を迎える組織を創ると確信します。



2019年度事業計画



事務局長 渋谷博之

公益社団法人寒河江青年会議所は寒河江西村山の地に於いて約半世紀に渡り先輩諸兄の情熱を深く受け継ぎ様々な背景を持つ会員同士が強く和を結び共鳴し合い「明るい豊かな社会の実現」の理念を元に運動を展開して参りました。青年会議所とは自らが住む地域社会を変える影響力を持つ団体でなければなりません。会員全員が同じ目的や目標に向かって突き進めるよう横の連携を大事にし、率先垂範を心がける組織の運営が必要となります。

まずは、2019年度の組織体制の承認をいただくために1月通常総会を先頭に立ち運営を行うことで、新年度体制の幕開けを迎えます。また、各関係団体と親睦を深めるために、新春賀詞交歓会を運営し、これまでのご支援に対し感謝をお伝えすることで、今年度の方向性を共有します。そして、次年度体制をご確認いただくために会員が8月通常総会を運営し、各委員会と積極的に連携することで、中間報告および次年度体制への準備を行います。さらに、事務局自らが積極的にブロック大会や東北青年フォーラムへ参加する意義や目的を会員全員に伝え参加を促し、一人でも多くの会員に規模の利益を生かした学びを得ていただきます。また、会員全員が同じ目線で共通の目的へと突き進むために例会、理事会その他諸会議の運営を円滑に行い、有事の際には青年会議所の組織力を生かした支援体制を構築出来るように努めます。そして、寒河江青年会議所の運動を地域の方々へと周知するために、SNSやHPによる情報発信を行います。さらに、運動を引継ぐために備品の保管や年間アルバム作成を堅実かつ確実に行い、資料の漏れの無いように努めます。

各々がいかに行動するべきなのか共通の目的に向かう認識が一人ひとりの「私にできること」を集め、人を集め生涯の友を作る場所を作り、意見の出し合いが和を紡ぎ、必ずや大きな運動を生み出し、新しい時代の明るい豊かな社会の実現に繋がることを確信します。

【職務分掌】

- (1) 1月通常総会の企画運営に関する事項（例会）
- (2) 新春賀詞交歓会の企画運営に関する事項（例会）
- (3) 8月通常総会の企画運営に関する事項（例会）
- (4) 各種大会に関する事項（ブロック大会、東北青年フォーラム（例会））
- (5) ホームページの運営に関する事項（上程・報告）



2019 年度 事業計画



- (6) 例会運営に関する事項（上程・報告）
- (7) 庶務に関する事項（上程・報告）
 - ・書類等保管整理
 - ・J C手帳の作成
 - ・備品管理
- (8) 渉外全般に関する事項
- (9) 理事会、その他諸会議の運営
- (10) 年間アルバムの作成
- (11) 会員拡大への積極的支援
- (12) 「ツール・ド・さくらんぼ」への積極的支援
- (13) 各事業への出席勧告、積極的支援
- (14) 日本青年会議所、東北地区協議会、山形ブロック協議会への積極的支援
- (15) 出向者への積極的支援
- (16) 理事会から付託された事項



公益担当財政局長 伊藤 千晶

公益社団法人寒河江青年会議所は、公益法人格を取得してから今年で8年目を迎えます。私たちはこれまで全ての先輩諸兄が紡いでこられた情熱と運動を深く受け継ぎ、次代へ繋げると共に地域の一人として活動する公益社団法人として、公益性の高い組織運営が求められています。また、これまでの歴史を踏まえて会員一人ひとりに公益社団法人としての品格を持ち、地域に根差し地域住民の信頼に応えられる財政運営を行う必要があります。

まずは、会員から戴いた会費を適正に活用するために、前年までの会計報告を引継ぎ、年間予算の作成をすることで、高い費用対効果が得られているか、全体の予算規模を把握し共有します。また、公益法人として求められている社会的責任を継続して果たしていくために、各委員会が立案する事業が円滑に構築できるよう、公益性の精査並びに予算の徹底を図ってまいります。そして、適正な財務管理を行うため、各委員会とのコミュニケーションを綿密に取ることで、上程前には事前に財政面のチェックを行うことで、議案の向上に繋がり、透明性の高い組織運営を目指し、公益法人としてふさわしい健全な管理体制を継続し、支援することを努めます。また、



2019 年度 事業計画



新たに役員となる会員が年々増える現状を踏まえ、各役職の役割と責任を自覚し把握していただくために、公益や会計について理解していただけるように努めます。そして、法令や定款、規則規程について法令違反や書類上の不備等がないか、管理体制を徹底し、会員一人ひとりが当事者意識を持つことで、各委員会を支援できる公益担当財政局を目指して、地域での堅実な運動に繋げて参ります。

財政局を運営するにおいて、自らを律し模範となるような行動をしなければいけません。決められた規程を守り、限られた財源を効率よく運用し、透明性のある運動を行うことで、地域住民、地域社会に信頼される誰もが夢を描ける明るい寒河江西村山を創造します。

【職務分掌】

- (1) 年度予算案、年度末決算に関する事項（上程・報告）
- (2) 予算の執行及び管理
- (3) 委員会会計の指導及び支援
- (4) 資産、財務管理、会計及び記録作成
- (5) 登記変更及び公益申請に関する事項（報告）
- (6) 定款、諸規程に関する事項（上程）
- (7) 会員拡大への積極的支援
- (8) 「ツール・ド・さくらんぼ」への積極的支援
- (9) 各事業への出席勧告、積極的支援
- (10) 日本青年会議所、東北地区協議会、山形ブロック協議会への積極的支援
- (11) 出向者への積極的支援
- (12) 理事会から付託された事項



2019年度事業計画



成長啓発委員会 委員長 安達 史倫

いつの時代も強い思いをもったリーダーが人々を巻き込み、地域を牽引していきました。昨今、私たちの愛する郷土寒河江西村山では、地方都市から都市部への人口流出に歯止めがきかず、人口減少や超高齢化社会が急速に進んでおります。生産年齢人口の減少に伴い経済成長が鈍化傾向にある中で、寒河江西村山の活性化のために、私たち青年世代が、次の時代の牽引者として強い思いを持ち、先頭に立って走り続けることが必要になります。

まずは、私たちがリーダーシップについて確かな知識を身につけるために、青年会議所のネットワークを活用した研修教育プログラムの企画運営を行い、人と人との結びつきに不可欠なコミュニケーション力を学ぶことで、想像性を高め何事にも挑戦する気持ちを身につけ、自らが先頭に立ち地域を牽引する強い覚悟を醸成し、地域社会に必要とされるリーダーを育成いたします。また、私たちが資質の向上をするために、得られた情報を第三者に自分の言葉で伝え理解していただくことで、得た知識を確かなものとします。そして、次の時代に向けて困難とも言える少子高齢化社会で地域活性化の活路を見出すために、地域を担う青年世代の同志と共に地域の未来を描いていくことで、各種団体と互いの組織を理解し合い、利他の精神を学び、分かち合う共感を身につけ、組織や地域の結びつきがより強固なものとなり、次の時代の地域活性化に向けての大きな1歩になります。また、次の時代の地域と企業を力強く牽引する事が出来るリーダーを育成するために、地域の先頭に立って共通の目的を互いにやり遂げることで、寒河江西村山の活性化に繋がります。

次の時代のリーダーとして、私たちの行動や心を掴む発信は共鳴に変わり、力強い導きが地域の方々の当事者意識を高め、私たちの運動に広がり価値を生み出し、各団体と助け合いの心が育まれ、次の時代の寒河江西村山を創造する原動力になることを確信します。

【職務分掌】

- (1) 会員資質向上に関する事項（例会）
- (2) 心を通わせる組織に関する事項（例会・公益）
- (3) 会員拡大への積極的支援
- (4) 「ツール・ド・さくらんぼ」への積極的支援
- (5) 各事業への出席勧告、積極的支援



2019 年度 事業計画



- (6) 日本青年会議所、東北地区協議会、山形ブロック協議会への積極的支援
- (7) 出向者への積極的支援
- (8) 理事会から付託された事項



会員研修委員会 委員長 清水 一 磨

寒河江 J C は「明るい豊かな社会の実現」の理念のもと、51 年もの間運動を続けてきました。激動の時代に立ち上がられた先輩諸兄の運動は時代に即した事業として形となり伝統として受け継がれています。また、その志は時代を超えて変わることなく私たちの誇りとなっています。新たな時代を迎える私たちは先輩諸兄の紡いでこられた伝統と志を引き継ぐ気概と変化を恐れず発展させる能力を兼ね備えた人財へと成長する必要があります。

まずは、多くの人が J C に参加してみようと思えるような環境を作るために、会員とその家族そして家族同士が交流する場を設けることで、共有できる楽しさや感動があることを伝えます。また、J C 運動に対する興味をより湧き立たせるために、理念を共有する山辺 J C 河北 J C と共に事業を構築することで協力関係を維持発展させ、新たな体験や学びを得る機会とします。そして、会員一人ひとりが J C の知識や理念を伝えられる人材、そして地域を牽引できる人財となるために、評価、改善の繰り返しを重視したスピーチトレーニングを行うことで自らの想いや考えを的確に伝え人を納得させる表現力を培います。さらに、地域の中で活躍できる人財へと成長するために、献血という奉仕活動を通して広く市民に協力を呼びかける体験を経ることで、地域との交流を持つとともに地域社会への奉仕の心を養います。一年間の集大成となる卒業式では、卒業生の実績と功績に感謝の意を表するために、現役会員の成長した姿を見せ卒業生を感動させられるようなしっかりとした設えをすることで、安心して寒河江 J C を巣立っていかれるような式を執り行います。

個人の修練を積み、培われた力をもって地域に貢献する経験を重ねることが私たちの気概となり力となります。J C という学び舎によって成長した私たちが寒河江 J C としての矜持を胸に、時代の変化に流されることなく運動を積み重ね、寒河江西村山を牽引します。



2019 年度 事業計画



【職務分掌】

- (1) 家族交流会に関する事項（例会）
- (2) 3 L O M 合同例会（例会）
- (3) 卒業式の企画運営に関する事項（例会）
- (4) スピーチトレーニングの実施（上程・報告）
- (5) 献血に関する事項（報告）
- (6) 会員拡大への積極的支援
- (7) 「ツール・ド・さくらんぼ」への積極的支援
- (8) 各事業への出席勧告、積極的支援
- (9) 日本青年会議所、東北地区協議会、山形ブロック協議会への積極的支援
- (10) 出向者への積極的支援
- (11) 理事会から付託された事項



青少年共育委員会 委員長 小 玉 俊 史

現代社会において通信機器の発展により顔が見えず素性の分からない相手と文字による会話が出来てしまう時代、子供たちはバーチャル世界の中で物事を解決してしまう事が容易になり対話の欠如が生まれます。また物がありふれた時代に、お金で買えない寒河江西村山の自然や、環境と調和した文化が身近にある幸せに気づかず、ごく普通に過ごしがちな子供たちに私たちが地域の誇りと歴史、先人たちへの感謝を伝えていく必要があります。

まずは、子供たちがあらゆる全ての物に対して感謝する意味を知ってもらう為に、当たり前が当たり前でない事を知り、誰かの為に何かをやり遂げた時の達成感及び、感謝を感じられる経験を得られる場を提供することで、自分を育ててくれた愛する郷土の歴史や文化の素晴らしさを感じ、自ら発信出来る人材へと成長します。また、感謝の意味を知った子供たちが感謝の気持ちを持ってもらう為に、恵まれた環境によって生かされている恩恵に気づいた子供たちが自信と誇りを胸に刻み、自覚を持った自尊心を養います。そして、子供たちの健全な身体を育てる為に、私



2019年度事業計画



たち大人が子供たちの先導者となり、子供たちが成長するためにも、大人の成長は不可欠です。私たちの想いと力強さを子供たちにしっかりと伝承できる事業を通じて、大人と子供が共に育みながら健全な身体の成長を遂げます。さらに、子供たちの健やかな心を育む為に、誰かが苦しんだり悲しんだりしている際、人に手を差し述べ、他人の気持ちを自分の事のように悩み共に考えることで、多種多様な価値観の大切さと心から理解してあげられる優しい思いやりのある少年に成長を遂げます。

いつか大人になって自分の郷土を見つめ直す機会があった時、今回の事業で経験した思い出が、郷土愛として心の中に深く根付き、逞しさと未来を切り拓く高い志を持った少年へと成長を遂げた彼らの活躍こそが、明るい豊かな社会の実現に繋がることを確信します。

【職務分掌】

- (1) 青少年の感謝の気持ちに関する事項（例会・公益）
- (2) 青少年の健やかな育成に関する事項（例会・公益）
- (3) 会員拡大への積極的支援
- (4) 「ツール・ド・さくらんぼ」への積極的支援
- (5) 各事業への出席勧告、積極的支援
- (6) 日本青年会議所、東北地区協議会、山形ブロック協議会への積極的支援
- (7) 出向者への積極的支援
- (8) 理事会から付託された事項